

手すりについて

朝起きるとき・トイレに行くときなど、座ったり、立ち上がったり、1日に何回するのでしょうか？

立ち座りの動作には、膝や腰への負担がかかります。また、立ち上がりの動作の際に、バランスを崩すことも考えられます。手すりを使うと上半身にも体重が分散されるため、膝・腰への負担が軽減され、バランス保持、立ち座りをしやすくなります。面倒に感じていた立ち座りが楽になれば、

歩行など、次の行動にもスムーズに移ることができますね。

イーストアイの手すりシリーズは、壁や床などの穴あけ工事は一切不要で組み立て・取り付け・設置ができます。穴あけ工事などできない賃貸住宅や壁・床材質が工事に向かない場合などにもおすすめです。取付け・取外しもかんたんなので、状態に合わせて手すり位置を変更することもでき、柔軟に対応しやすいので便利です。

家具調ベッドにつける

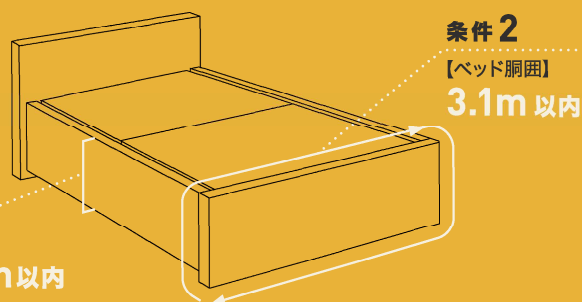
→ P.40



ベッドからの起き上がりや立ち上がりの際に、バランスを崩しやすいから手すりがほしい。でも、そのためにベッドごと変えるのは大変です。イーストアイのセーフティベッドアームは、ベルトをベッド胴囲に巻き付けて固定するので、取付け・取外しがかんたん。ベッドにビス固定できない場合や、ベッドに穴を開けたくない場合にも、おすすめです。ご家庭のいつも寝ているご自分のベッドに手すりを取り付けると、起き上がりやベッドからの立ち上がり、また、歩き出しなどの動作に便利です。ベッドへ腰かける際にも、手すりを持つことで立ち姿勢を保ち、身体の向きを変えやすくなります。手すりがないと、腰や膝などに負担がかかります。手すりを使って、負担を軽減し、起床・就床も快適に！また、手すりをつけることで、布団がベッドから落ちにくいというメリットもあります。

取付条件

条件1
【ベッド高さ】
10~50cm以内



洋式トイレにつける

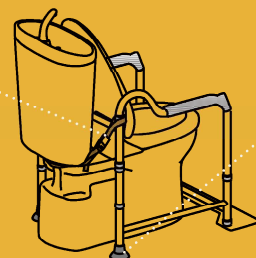
→ P.41-42



ご家庭のトイレで排泄するときには、立ち座りの動作で脚や膝などに負担がかかります。また、便座へゆっくり座ることができず、ドスンと尻もちをつくようになることもあり、バランスを崩しやすい場合もあります。その負担を軽減し、安心な立ち座りの動作をサポートするために、洋式トイレに手すりを取り付けると大変便利です。手すりを押すことができるので立ち上がりやすく、リウマチなどで手すりを握ることが難しい方、握力が弱い方にもおすすめです。また、手すりがあることで、座位を保持しやすく、息んで排泄しやすい、という方もいらっしゃると思います。メンテナンスが楽な手すりは、ご自身での排泄サポートに、また、レンタル業者様のスムーズな作業などに活用できます。

取付条件

条件1
補助ベルトを取り付けできるのか
手すりの浮き上がりを防止するため、便器下部にベルトを通します。



条件2
吸盤が作用する床なのか
吸盤を吸着させて使用します。